

新型コロナウイルス感染防止対策に関わる Q&A

盛岡中央高校附属中学校



Q1

中央高校附属中学校では日常的にはどのようなコロナ感染対策を行っていますか。

本校では、次のような点に留意して教育活動を行っております。引き続き保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

- 職員はマスク着用での授業を行います。また生徒全員のマスク着用をお願いしています。マスクのない生徒には可能な限り学校のストックを提供します。
- 玄関ロビー等にアルコール消毒のスペースを設けて、適宜消毒を行うよう指導しています。
- 業間には必ず換気を実施します。また、各教室に空気清浄機を用意しています。
- 昼食はグループではなく、講義型のレイアウトで行います。
- 授業、全校集会、学年集会等においては、生徒の十分な間隔を保持する形態で実施します。
- コロナウイルス感染に関する正しい情報を伝えるとともに、手洗いの励行、検温、食と睡眠などの指導を徹底します。



Q2

登下校時、どのようなことに注意すればいいでしょうか。

まず、登校前に体温の計測をお願いします。微熱（目安は 37.5 度）がある場合は学校に連絡をいただき、自宅で待機するようお願いいたします。検温結果は「タイムくん」に記入するなどして、個々の健康管理を習慣化していきましょう。電車通学の場合は必ずマスクを着用し、電車内で友人との会話はできるだけ控えてください。登校時は昇降口で手の消毒をしっかりと行いましょう。



Q3

微熱があって休む場合は欠席になりますか。

状況にもよりますが、欠席ではなく、「出席停止・忌引等の日数」としての取り扱いになる見通しです（皆勤に影響を与えません）。法的には「学校保健安全法 19 条による出席停止」または「非常変災等児童生徒または保護者の責任に帰すことができない自由で欠席した場合、校長が出席しなくてもよいと認めた日として取り扱うことができる」という通達が根拠になります。



Q4

海外修学旅行も含め宿泊研修やフィールドワークはどのようになりますか。

6月実施予定の2年生の台湾研修は延期していますが、世界情勢的にみて10月実施予定の3年生のカナダ研修も含めて年内の渡航は厳しいと思われます。1年生の研修合宿は中止しました。また、県内施設閉鎖の状況が多く、先人研究やIHATOV QUESTなども今後の様子を見ながら検討していきます。



Q5

様々な報道を見ていると、学校に行くことや、県内でもパンデミックが起これしまうのではないかと不安にかられます。どうしたらいいでしょう。

不安になる気持ちよくわかります。本校では、担任、養護教諭を中心としたきめ細かな健康観察から、健康相談やスクールカウンセラー（月1回来校）による支援も行っていく体制を整えています。積極的に声をかけていただければと思います。



Q6

クラスメイトの中に、春休み中にコロナ感染拡大地域への旅行をされた方がいるとの噂があります。本校は広い地域から登校していることもあり、家族も含めた健康状態の確認をして欲しいのですがいかがでしょうか。

本校では、4/7の首相の緊急事態宣言を受けて、3/25以降に海外または、東京・千葉・神奈川・埼玉・大阪・兵庫・福岡の7県に旅行した生徒へのヒアリングを行い、場合によっては2週間の自宅待機をお願いすることも考慮しています。また、今後も県外への旅行や、多数が集まる集会への参加をお控え下さるよう要請いたしますので、趣旨をご理解の上ご協力のほどよろしくお願いいたします。

併せまして、デマや不正確な情報によって、いたずらに不安を覚えたり、あるいは感染者、濃厚接触者とその家族、医療従事者等への差別や偏見を抱くことのないよう様々な場面を捉えて生徒を啓発していきたいと考えております。

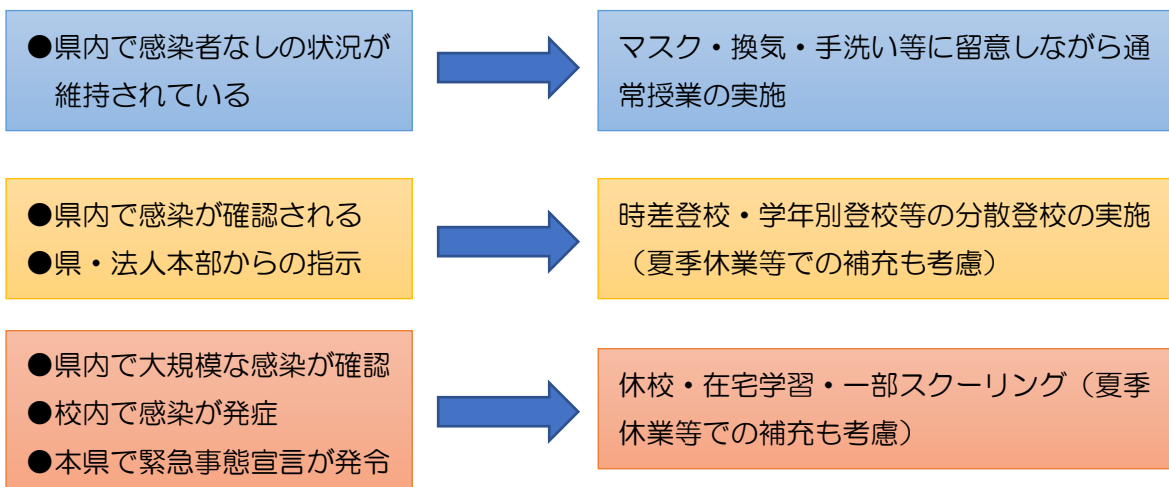
なお、文科省において、子どもや保護者等への新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口「24時間子供SOSダイヤル」が設置されていますので参考にしてください（QRコードから入れます）。



Q7

今後の県内及び国内の状況の変化によって、どのような対応になることが考えられますか。

現段階（4/7付）では、状況の変化によって次の図のような3段階での対応を考えております。





Q8

在宅学習の際の学校からの連絡はどのようにになりますか。また、自学のための学習教材はどのようなものがありますか。

まず、学校から家庭（生徒・保護者）への連絡は、classi というクラウドサービスを用いて行います。各種連絡、各教科からの課題の配付等も基本的に classi で行います。また、classi は各教科の演習教材や動画コンテンツも豊富であり、ベネッセの「学力推移調査」の過去問データベースも充実しています。また、岩手県総合教育センターでは「[Gアップシート](#)」という県内の中学生の、国数英の学力スタンダードを明確化した学習シートを Web で公開しています。これを行うことで中学の学習内容がどの程度達成されたかを知ることができます。なお、[東京学芸大のオンライン学習リンク集](#)というオンライン学習プラットフォームサイトもお勧めですのでご覧いただければと思います。



Q9

在宅学習は自分で課題を行うだけの活動になりますか。その際の評価はどのようになるのでしょうか。

休校が短期の場合は事前に配付された課題やオンラインで提示された課題を計画的に行っていただく形になります。学校再開後、その成果物を提出していただき、その間の学習評価に用います。

また、休校が長期に及ぶ場合は、次のような2つのタイプのオンライン学習を併用していくことを計画しています。

■ 非同期型学習

あらかじめ Web、サーバ上に蓄積されているコンテンツを生徒が自分のペースで自由にアクセスして行う学習です。前の質問の回答にある各種学習コンテンツや、Youtube の学習動画などがこれにあたります。

■ 同期型学習

ネットを利用し多地点を同時に結んで行う学習です。ライブ動画での授業配信や、アプリケーションを双方向で共有するようリアルタイム性とインタラクティブ性を持つ学習です。

非同期型学習における評価は、成果物の事後評価になりますが、同期型学習においては、双方向性が担保されるので、授業の振り返りや web テストなどにより即時評価していくことも考えられます。



Q10

在宅での Web 学習を行うためには、家庭での機器やネット環境はどのようにすればいいのでしょうか。

Wifi などネットにつながる環境と PC などの端末が必要です。SNS を利用した情報交換や Web ホームルームなどの対話型の活動の場合はスマホでもいいのですが、授業動画の受信やオンライン学習教材への取り組みは、PC かタブレットを用いて行う方が効果的かもしれません。スマホをケーブルでテレビに接続することも一つの手段です。

敢えて機器を購入しなくとも、家庭にある PC を活用していただければ十分です。そして、家族ぐるみで子どもの学習を見守る環境が生まれれば学習効果も高まるのではないかと考えております。



Q11

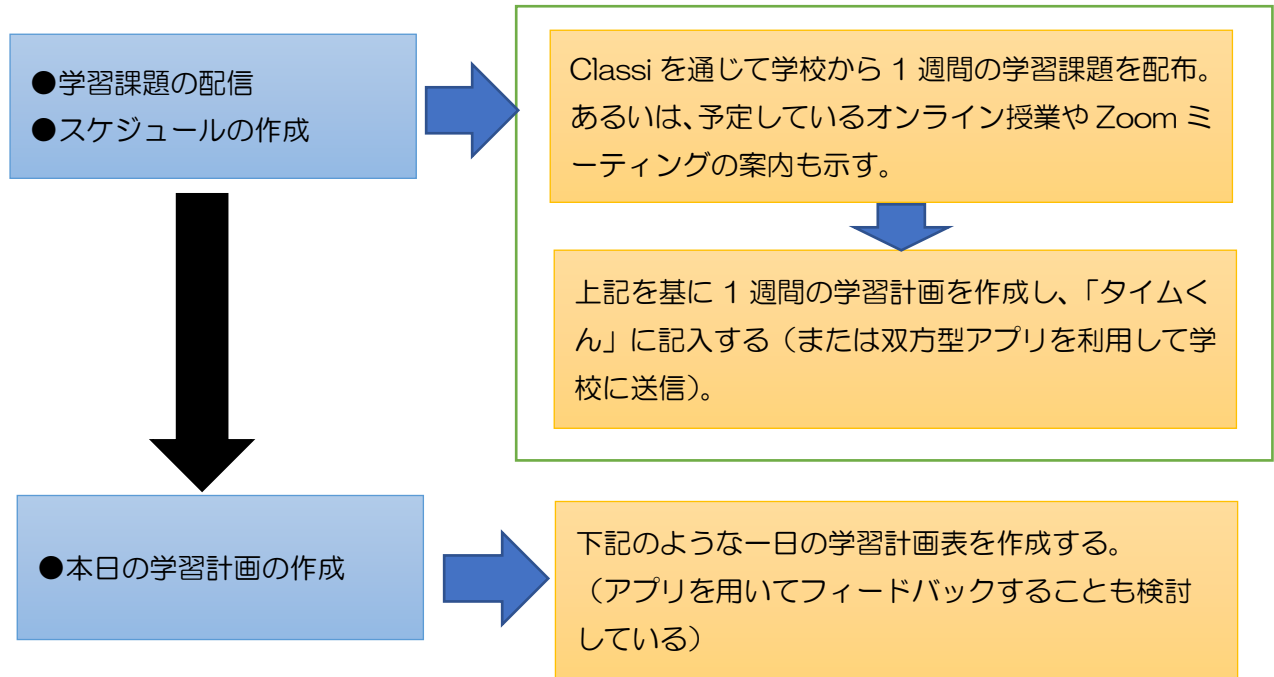
在宅学習が長期化する場合、モチベーションが続くのか心配です。オンライン学習の具体的なイメージについて教えてください。

非同期型学習だけではモチベーションが続かないので、適宜同期型学習を入れる形にして、生徒の日常生活の様子を見ながら個々の学習の支援をしていきたいと考えています。

現在構想中ではありますが、一つの例として次のような取組を示しておきます。

(現在構想中のものの一つなので、あくまでも参考としてご覧ください)

【長期にわたる在宅学習への支援プログラム】



4月×日の学習スケジュール

8:30~8:50	9:00~9:30	10:00~11:00	13:00~15:00	15:30~16:00
本日の計画作成 (タイムくん記入等)	アリスの英会話レッスン (Zoom配信)	数学授業動画視聴 学習課題実施	各教科からの課題プリント (結果を報告)	1年1組オンラインホームルーム (Zoomミーティング)



【オンライン学習に有効なアプリケーション】

- Classi (本校の基本オンラインツール：自作テスト等学習教材の発信などができる。本校では全校に配付している)
- Zoom (オンラインミーティングアプリ：ミーティングを企画しオンライン授業が実施できる。3月25日に1学年生徒保護者に対して実験的にウェブミーティングを実施した)
- Edmodo (教師・生徒・保護者のSNS：グループを作って双方向の課題学習が実施できる)
- その他 (Google classroom / BLEND / Key Note / 他)